

はじめに

「建学の精神」には、本学の教育目標が記載されている。すなわち「良医を育てる」、「知識と技術をきわめる」、「社会に貢献する」の三つであり、これに基づき、「良き医療者」を育成することが本学に求められている。学生諸君は6年間の在学中に、1) 自学自習の習慣、2) 問題解決能力、3) 知識・技術の習得、4) 医師として好ましい態度・価値観、を習得し、「良き医療者」となる基礎を作してほしい。

本学は「モデル・コア・カリキュラム」に対応したカリキュラム編成を行ってきた。「モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改定版」は「多様なニーズに対応できる医師の養成」を掲げている。状況に応じて、医療安全、チーム医療、地域医療などのニーズに対応できる実践的臨床能力を卒業時に身につけていなければならない。加えて、全国の医学部では、国際基準に沿った医学教育分野別評価に対応した講義、臨床実習が求められている。本学では令和3年度からカリキュラムを改編し、初年次教育に医学を学ぶための基礎知識を涵養するプログラムを取り入れ、「診療参加型臨床実習」(CCS)を第4学年から実施するなどの方策をとっている。さらに、新型コロナウイルス感染症の流行や、超高齢化による多疾患併用患者の増加、近年の人工知能等による医療技術の高度化などを踏まえ、「モデル・コア・カリキュラム」は令和4年度にも改定された。「モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改定版」では「未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍できる医療人の養成」を掲げている。令和4年度改定版で新たに加わった学修事項は、第1学年では令和6年度から、第2学年から第6学年では令和7年度から学修要項に盛り込まれる。

「診療参加型臨床実習」(CCS)では正確な知識と技術が必要である。まずは第1～3学年次のユニットでの学修成果を、第3学年次の「共用試験」(CBT、Pre-CC OSCE)で発揮できるように知識及び技術を定着させてほしい。第4学年から開始されるCCSでは、Student Doctorとしてより実践的な知識と技術を学び、「知識と技術をきわめる」ことを期待している。

令和7年度より、「臨床実習後OSCE」(Post-CC OSCE)が、共用試験実施評価機構主催の国家試験となる予定である。これは、臨床実習終了後の知識と技術・態度を評価するもので、第6学年に実施される。知識の「医師国家試験」、実技の「Post-CC OSCE」ともに合格できるよう成長してほしい。

この学修要項には令和7年度の一般目標、行動目標、学習内容が明示してある。カリキュラムはあくまで学修目標の達成のための行動計画書であり、学生自らの学習意欲と教員の情熱があってはじめて目標が達成される。このカリキュラムが有効に機能し、学生諸君が6年間の課程を終了後、立派な「良医」として羽ばたき、「社会に貢献する」することを期待してやまない。

令和7年4月
医 学 部 長

金沢医科大学医学部の使命

金沢医科大学医学部は、金沢医科大学学則第1条に加え、以下の資質・能力を持つ医師を養成することを使命とする。

- 豊かな人間性と倫理観を持ち、医師として定められた役割を担う能力を有する医師を養成する。
- 自己主導型学習能力を身につけ、生涯にわたり自己の向上を図ることのできる医師であるとともに、科学的態度と探究心を持ち、医学研究を行うことのできる医師を養成する。
- 医学・医療に活用できる幅広い知識、基本的診療手技、患者中心の医療を実践するためのコミュニケーション能力を修得し、チーム医療を実践できる医師を養成する。さまざまな専門領域に応用できる基本と、卒後の初期および後期研修に必要な実践力を有する医師を養成する。
- 社会的責任、地域の健康維持に関する要請、および医療の国際化と国際貢献に対応し、医療制度に準じた医療を担うことのできる医師を養成する。

以 上

金沢医科大学 学生行動規範

①私たちは、学内外を問わず良識ある学生として行動し、品位を保ち、本学の名誉を傷つけることのないよう努めます。学生便覧の学則・諸規程を熟読し、遵守します。

②私たちは、本学建学の精神を遵守し、地域及び国際社会に貢献する良き医療人となるべく、勉学に励みます。具体的には、以下のことを実践します。

○授業、実習、試験には必ず出席し、熱心に取り組みます。

○互いに学び合う態度を持つことを意識します。

○授業、実習、課外活動等の学生生活を通じて、人間性を豊かに育みます。ただし、学生としての本分（学業）を忘れず、活動が強制されることのないよう配慮します。

③私たちは、学生同士、教職員、医療従事者、患者、およびその家族を含む、すべての人々に対し、敬意と思いやりをもって公平に接します。

多様性を尊重し、相手の職種、職位、年齢、性別、性自認、人種、出身地、宗教、障がいの有無、その他の個人の特性を理由とした、いかなる差別的言動やハラスメントも行いません。

学内および実習先において、政治的活動・宗教的宣教活動を行いません。

④私たちは、本学及び各施設の規程、ガイドライン、医療従事者・研究者として求められる倫理・関連法規を遵守します。

実習・研究において知りえた情報は、友人間や SNS 含めて情報を漏洩することなく、守秘義務と個人情報保護を徹底します。

⑤私たちは、常に品位と体面を保持し、身だしなみを整えます。清潔感があり、他者に不快感を与えない服装を心がけます。

特に、実習・研究時の服装、頭髪等については、関連の要項を守り、指導責任者の指示に従います。